

通学による対面授業を実施するに当たり、本学では、学生の皆さん及び教職員の感染を防止するため、以下のとおり感染症対策を講じます。また、感染防止のために皆さんにお願いしたいことについても記載しています。

必ず内容を確認するとともに、「若いから大丈夫」「元気だから大丈夫」(※)とは思わず、一つひとつ励行してください。

学内での学業・課外活動等と感染症対策を両立した新しい生活様式における“新しいキャンパスライフ”のあり方をともに実現していきましょう。

(※) 若くても重症化するケースがあります。また、無症状感染者が感染拡大の要因になるケースもあります。

## 1. 本学が講じる感染症対策

### 1. 毎日の消毒作業の実施

- ・教室に関しては、毎日の通常の清掃に加え、その日の全ての授業が終了した後に、ドアノブ・スイッチ・教卓・教室備付けのマイク・教卓の亚克力板等の消毒を行います。
- ・また、教室以外でも、トイレ、共用部のスイッチ・ドアノブ、階段の手摺り、ラウンジや学生食堂等のテーブル・椅子についても、消毒を行います。

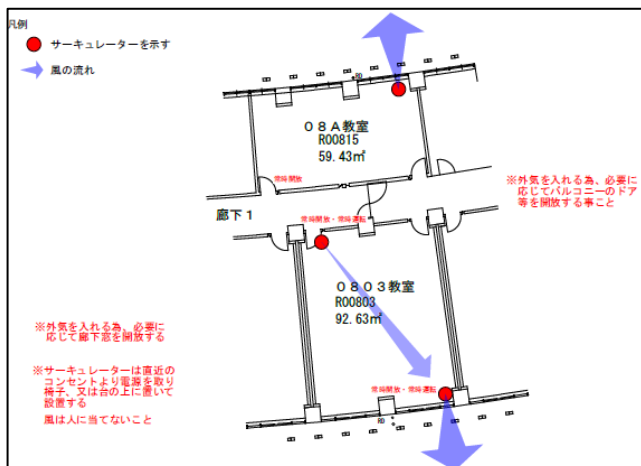
### 2. 感染症対策備品の設置

- ・各建物の出入口及び各授業教室の出入口に、手指消毒用のアルコール消毒液を設置します。
- ・また、各授業教室の出入口には、あわせて、机消毒用のペーパータオルを設置します。
- ・室内換気を徹底するため、教室内等にサーキュレータを設置します。
- ・教卓には、飛沫感染防止のため、亚克力板を設置します。
- ・各部署の窓口には、飛沫感染防止のため、亚克力板又はフィルムを設置します。

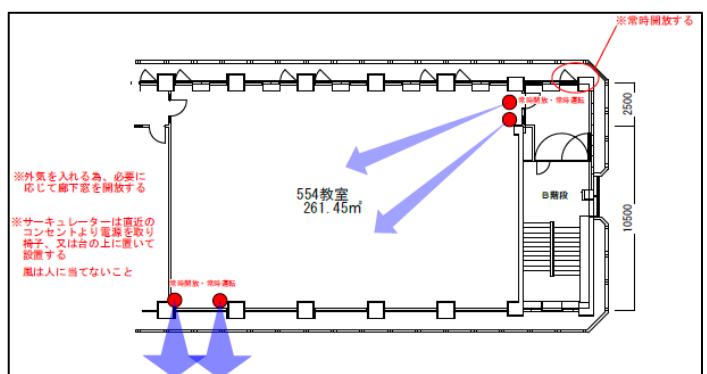
### 3. 教室内の措置

- ・教室では社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保するため、1席おきの着座とします。また、着席不可の席には、それを示すシールを貼付します。
- ・授業担当教員はマスクを着用します。
- ・教室内の換気扇及びサーキュレータは常時「ON」の状態とし、あわせて、定期的に窓や扉を開けて換気を行います。

#### サーキュレータによる換気方法（例）



※教室内の換気は、サーキュレータを活用し、ドアから外気を取り入れ、対角線上の窓から空気を外に出すことを基本としてください。



#### 4. 学生食堂の措置

- ・学生食堂では入口に手指消毒用のアルコール消毒液を設置し、一部の食堂では入口と出口を分けた動線にします。
- ・各席をアクリル板で仕切り、着座位置を認識し記録できるよう座席に番号シールを貼付します。
- ・券売機等に並ぶ際など、間隔を空けるためのフロアマーカ一等を設置します。

#### 5. ラウンジの措置

- ・ラウンジ等における座席は、対面着席及び隣席への着席とならないように椅子を削減する等、座席の間隔を空けるようにします。無断で動かさないようにしてください。

#### 6. 館内放送の実施

- ・感染症対策の注意喚起を目的として、一定期間、構内全域で館内放送を実施することがあります。

## II. 感染症対策のために皆さんにお願いしたいこと

### 1. 入構に関わる留意事項

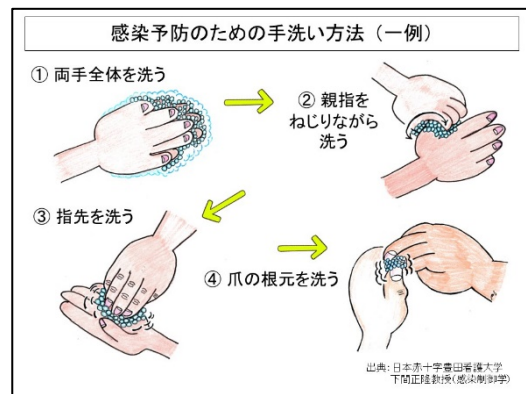
キャンパス内へ入構する際は、以下の感染症対策にご協力ください。

- ・各自、登校前には検温を行い、発熱や風邪の症状、味覚・嗅覚障害等がある場合は、必ず自宅で休養してください。また、症状が治まっても、発症から1週間程度は登校しないでください。
- ・入構時及び学内滞在中は、必ずマスク（不織布が望ましい）を着用してください。ただし、息苦しいときは、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外しても構いません。

- ・建物への入館時には必ず手指消毒をするか入館後に正しい方法（右記参照）で手洗いをしてください。

※消毒液が設置されていない場所では、正しい方法で手洗いを行ってください。

- ・学内には以下のとおり検温所を設けますので、学内での検温を希望する場合、体調に不安を感じた場合などは、以下の検温所で検温を行ってください。



キャンパス	検温所
名古屋キャンパス	0号館 G 階総務課、4号館中館 1階学生支援課 5号館 1階教務課、9号館 1階学事課（法学部） 11号館 1階受付、16号館 1階学事課（国際学部・GEC）
豊田キャンパス	1号館 1階総務課・学生支援課・教務課、3号館 2階スポーツ振興課、15号館 B1階保健センター、11号館 1階学事課豊田オフィス（スポーツ科学部）

- ・学内で感染者が確認された場合や、自身が感染した場合に備え、毎日「体調管理・行動記録表」を記入の上、保管しておいてください。

「体調管理・行動記録表」は以下 URL からダウンロードすることができます。

<https://www.chukyo-u.ac.jp/news/baf6d5faccb3a258daffe24bc759307b.pdf>

- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を各自、ダウンロードしてください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

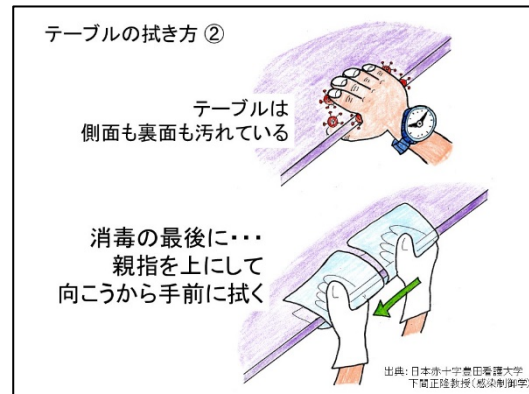
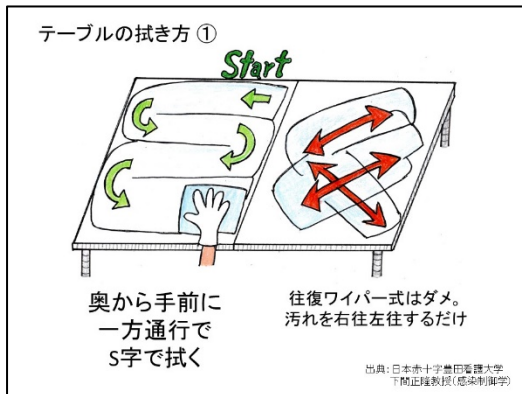
### 2. 教室使用に関わる留意事項

- ・1席おきに、間隔を空けて着席してください（コンピュータ教室等を除く）。
- ・入室時には、必ず手洗い又はアルコール消毒液による手指消毒を行ってください。

- ・入室時や昼食前後などに机・椅子を消毒したい場合は、ペーパータオルにアルコール消毒液を吹き付け、S字を描くように正しい方法（以下参照）で拭いてください。

※使用済みのペーパータオルは、必ず教室内のダストボックスに廃棄してください。

※アルコール消毒液を直接、机等に吹き付けないようにしてください。



- ・授業と授業の間の休み時間や昼休みの時間には、窓際や扉の近くにいる方が、窓や扉を開放して換気を行ってください（できるだけ2方向の窓・扉を開けてください）。また、授業中に授業担当教員より、開放するよう指示された場合は、ご協力ください。
- ・グループワーク等で会話が行われる場合においては、他の学生との距離を確保する、正面に向かい合って着席しないようにする等、密接場면을避けるように努めてください。

### 3. ラウンジ等利用に関わる留意事項

- ・ラウンジ等利用の際は、飛沫感染防止の観点から、大声での会話は控えるとともに、会話する場合でも社会的距離（ソーシャルディスタンス）を保ち、マスクを着用してください。

### 4. 窓口利用に関わる留意事項

- ・窓口が込み合うときは、社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保するようにしてください。
- ・窓口では感染防止のため、筆記用具の貸し出しを行いません。申請書の記入等がある場合は、筆記用具を持参してください。

### 5. トイレ使用に関わる留意事項

- ・原則として、和式トイレは使用しないでください。
- ・洋式トイレ使用後は、蓋を閉めて水を流してください。
- ・手洗いの際は、備付けの石鹸、ハンドソープ等を使用してください。
- ・ハンドドライヤーの使用を禁止しますので、必ずハンカチを持参するようにしてください。暑い時期には、複数枚持参することをお勧めします。

### 6. 階段・エレベーター利用に関わる留意事項

- ・名古屋キャンパスでは、エレベーターの利用は高層階へ移動する場合に限定し、低層階への移動はできるだけ階段を使うようにしてください。

また、飛沫感染防止の観点から、エレベーター内での会話は控えてください。

- ・豊田キャンパスでは、原則として階段を利用してください。
- ・階段内では交錯を防ぐため、右側通行としますので、ご協力ください。

## 7. 昼食に関わる留意事項

- ・ 昼食時はついつい気が緩みがちとなります。しっかりと感染防止対策を行きましょう。
- ・ 昼食はできるかぎり持参、または購入し、3 時限目の教室でとるようにしてください（ただし、混雑している場合は、空いている教室を利用しても構いません。PC 教室等で昼食をとることはできません）。
- ・ 教室でとる際は、1 席おきに間隔を空けて着席し、食事中の会話は控えてください。また、昼食前後に会話をする際は、忘れずにマスクを着用してください。
- ・ 昼食前後は、教室入口に備付けのペーパータオルにアルコール消毒液を吹き付け、S 字を描くように正しい方法で机を拭くようにしてください。

### 学生食堂の利用について

- ・ 学生食堂利用時は、手洗いを行うか入口に備付けのアルコール消毒液で手指消毒をしてください。
- ・ 各席には番号シールを貼付していますので、感染者発生時に備え、何番の席を利用したかを控えておいてください。
- ・ 食事中の会話は控えていただき、食事を終えた後は長時間滞在することなく速やかに退席してください。

## 8. 豊田キャンパススクールバス・キャンパス間連絡バス 乗車に関わる留意事項

- ・ スクールバス、キャンパス間連絡バス乗車時は、必ずマスクを着用してください。また、感染防止のため乗車中の会話は控えてください。
- ・ 乗車口にアルコール消毒液を設置しますので、必ず手指消毒の上、乗車するようにしてください（アルコールアレルギーがある方は、乗車前に手洗いを行ってください）。
- ・ 万が一、自身が感染したときに備え、各自、車両番号を記録・保管しておいてください。

## 9. 授業やその他用件終了後の速やかな帰宅

- ・ 授業や課外活動その他の用件が終了し、学内に滞在する特段の理由がないときは、学内の滞在人数を抑えるためにも速やかに帰宅してください。

## III. 体調不良時の対応

- ・ 学内で体調が悪くなった場合は、直ちに学生支援課へ電話連絡してください（感染拡大防止のため、学生支援課への来訪は控えてください）。

### 【学生支援課 連絡先】

名古屋キャンパス：052-835-7163      豊田キャンパス：0565-46-1230

以 上